

2025年、「観光先進国」へ飛躍の年に

が語る新時代の旅行業

JTB社長 山北 栄二郎氏
KNTCTホールディングス社長 小山 佳延氏
日本旅行社長 小谷野 悦光氏
東武トップツアーズ社長 百木田 康二氏
司会=本社取締役編集長・森田淳

国家的イベント開幕、波及効果に業界が大きな期待

新しい年、2025年が明けた。昨年、旅行業界は国内旅行が一定の回復をみせ、インバウンドが絶好調、海外旅行は回復しつつもかつての状況とは程遠い、というがおおまかな流れだった。今年からは国内旅行の一層の回復が期待される中で、国家的なビッグイベント「大阪・関西万博」が4月に開幕。その波及効果に、

24年の旅行業界を振り返る



百木田氏

「2024年問題」といって、バスや航空機の予約不足が深刻化した1年でもあった。インバウンドの増加やAIを使ったタイミックプログラミングの採用もあり、都市部を中心に宿泊価格が上昇したことは、

「持続可能な」旅行に注力 国内好調、大型案件動く 百木田

効果は確実にあった。花火や祭りなど、夏の催事のツアーもよく売れている。パリオリンピックや東京マラソンにより、海外からの観光客が増えている。また、教育旅行はやはり2024年の問題により、貸し切りバスの手配に苦しんだ。バス以外の交通機関の活用や、仕向け地や時期の集中を緩和するなど、今後の検討材料になるだろう。



小山氏

小山 佳延氏
「2024年問題」といって、バスや航空機の予約不足が深刻化した1年でもあった。インバウンドの増加やAIを使ったタイミックプログラミングの採用もあり、都市部を中心に宿泊価格が上昇したことは、



小山 佳延氏
「2024年問題」といって、バスや航空機の予約不足が深刻化した1年でもあった。インバウンドの増加やAIを使ったタイミックプログラミングの採用もあり、都市部を中心に宿泊価格が上昇したことは、

小山 佳延氏
「2024年問題」といって、バスや航空機の予約不足が深刻化した1年でもあった。インバウンドの増加やAIを使ったタイミックプログラミングの採用もあり、都市部を中心に宿泊価格が上昇したことは、

小山 佳延氏
「2024年問題」といって、バスや航空機の予約不足が深刻化した1年でもあった。インバウンドの増加やAIを使ったタイミックプログラミングの採用もあり、都市部を中心に宿泊価格が上昇したことは、

Maruetsu advertisement for Maruetsu Onsen & Ryokan. Includes text: 多彩な温泉、旬彩の美食、日本の宿のおもてなし. 若草の宿丸栄へ. 丸栄 Maruetsu. 0555-72-1371. www.maruetsu.com